

皆さんへ、

アメリカは今年の秋にはコロナの煩わしさから解放されましたが、皆さんの一年はいかがでしたか。我々の2022年の活動をお知らせします。

<一味と由紀子の2022年の旅行記>

今年は二人での旅行が多くできました。まず、2021年の年末は山形県の銀山温泉に行きました。ちょうど雪が降って、とてもきれいでした。(千と千尋の世界、そのままという感じで、おすすめです。)

銀山温泉



由紀子が3月に渡米した時は初めて、スモークーマウンテン国立公園に行きました。まだ寒かったですが、面白かったです。

スモークーマウンテン



5月に一味が東京に戻って、まず、倉敷、瀬戸内芸術祭をやっている宇野、直島、山陰に渡って大山、米子、出雲大社、玉造と回りました。

宇野のチヌ、大山、水木ロード、出雲大社



7月には兼ねてより行きたかった屋久島旅行が実現しました。

紀元杉（屋久杉の一つ） 苔むす森 猿（野生） 宿



(<https://one-taste.org/yakushima/>)

8月は友人のBさんと金沢・能登を旅行しました。2時間サスペンスで有名になった崖にも行きました。

那谷寺（石川県）ヤセの崖、古総湯（山代温泉）のどぐろ井（金沢）



<由紀子の2022年>

1月に千葉の海浜幕張に建設中のマンションを買いました。入居は2024年3月になります。3月には、米国に戻り、アパラチア・マウンテンに行きました。その後、AAAL(American Association for Applied Linguistics)に出席し、英語や印欧語の研究発表を聞いて刺激を受けて帰国しました。4月からは広大での最終年度が始まりましたが、この時点では入国制限がまだ厳しく、対面授業を始める教員は限られていました。2023年3月には退官する予定ということもあり、現在構築中のデータベースを完成させること、6名の院生を3月に修了させること、本を完成させることなど、退官前にすべきことが山積しています。それでも終わらない研究は退官後にしようと思っています。9月には本を出版し、今その続編を書いています。



7月に屋久島でハイキングをしました。その際足を痛めたようです。いつもの筋肉痛と高を括っていたら、どんどん悪化し、病院に行った頃には大きな注射10本分の水が膝にたまっていました。初めは関節炎ではないかということだったのですが、その後骨折していることが分かりました。今も歩くのは控え杖に頼る生活をしています。それでも先月は同僚の渡部先生に1泊2日の温泉旅行に連れて行って頂きました。足が動かないので、渡部先生はもとより同行した仁科先生や小口先生にはお世話になりっぱなしでしたが、久しぶりの旅行ですごくリフレッシュ出来ました。根治までには後1, 2か月はかかるそうですが、治れば運動も山歩きもできるそうです。引っ越し先は東京ですから、来年は東京か米国にいるだろうと思います。

<一味の 2022 年>

コロナ禍が続く中、米国は3月にマスクが取れ始めました。春学期の授業はオンラインと対面のミックスとなりました。3月のハワイでの学会もオンラインになり、ハワイ旅行の夢は消えました。それでも、3月には運動中のマスクが緩和され、バスケットができるようになり、運動不足から少し解消されました。

5月に東京に戻ってからは、友人の浅草・下町案内、隅田川クルーズ、プリンストン大の夏のプログラム用にさん喬師匠に落語の録画をお願いしたりしました。名古屋と大阪にも行きました。名古屋では桶狭間に初めて行きました。柳橋中央市場も面白かったです。大阪は天満橋筋商店街、池田の日清ヌードル博物館を訪れました。

夏の間は高校の同級生がゴルフに連れて行ってくれ、国内ゴルフを堪能しました。9月には5回目のコロナとインフルエンザのワクチン接種を受けました。

11月には ACTFL の学会がボストンで開催されました。久しぶりにいろいろな人に会って話をするのができ、楽しむことができました。やはり、実地の会議はいいものです。普段ネットでは繋がっていない人と会ったり、思いがけない拾いものがあったり。対面ならではの良さを再確認しました。夜のボストンは寒かったですが、街を楽しむこともできました。サンクスギビングには、今年も、お役さんが来てくれて賑やかに過ごしました。

ミータロー&チビタン：お父さんはあたいたちのことをそろそろ忘れ始めているので、二匹で化けて出てやろうかと相談しています。

一味 & 由紀子

***** 2023年 さらに普通の生活に戻れることを祈って *****